

● 熱間圧延ステンレス鋼等辺山形鋼 (アングル)

● 熱間仕上ステンレス鋼チャンネル

● ステンレスフラットバー

HOT品・#400品

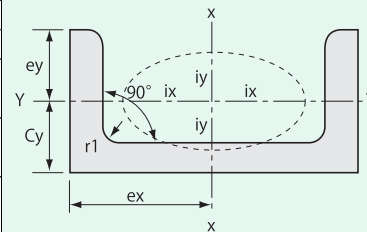
COLD品・HL品

● **適用範囲** 仮設構造物のフレーム材、給排気ダクトの補強材としての使用又、ステンレスは美観・耐食性強度・加工性などにすぐれ広範囲の用途で使用される。

■ 熱間圧延アングル寸法許容差 ■ 熱間圧延チャンネル寸法許容差

直角度	90° ±2°
曲 り	1mにつき3mm以下、 全長に対して $\frac{3\text{mm} \times \text{全長m}}{1\text{m}}$ 以下
長 さ	+40mm、-0mm
厚 さ	$\frac{t}{\text{辺長}}$ 20~90 100 125~150 3.0~12.0 ±0.4 ±0.6 ±1.0
辺 長	20~25 30~50 60~90 100~150 ±1.5 ±2.0 ±3.0 ±4.0

直 角 度	90° ±2°
曲 り	3mm/1m以下
長 さ 公 差	+40mm-0mm
断面二次モーメント	$I=ai^2$
断面二次半径	$i=\sqrt{I/a}$
断面係数	$z=I/e$ (a=断面積)



■ 熱間圧延丸鋼、角鋼及び六角鋼の許容差並びに偏径差又は偏差 単位：mm

径、辺又は対辺距離	寸法許容差	偏径差又は偏差 (注)
15以下	±0.3	許容差範囲の75%以下
15を超え 25以下	±0.4	
25を超え 35以下	±0.5	
35を超え 50以下	±0.6	
50を超え 80以下	±0.8	
80を超え 100以下	±1.0	
100を超え 120以下	±1.3	
120を超え 160以下	±1.6	
160を超え 200以下	±2.0	
200を超えるもの	±1.2%	

(注) 偏径差又は偏差は、同一断面における径、辺又は対辺距離の最大値と最小値との差で表す。

■ コールドフラットバー寸法許容差 単位：mm

	厚さ \ 幅	3~9	10~18	19~30	31~50	51~75	76~100	101~150
厚さの許容差	2	0/-0.06	0/-0.14	0/-0.14	0/-0.16	0/-0.18	0/-0.18	$\frac{0}{-0.30}$
	3							
	4							
	5							
	6							
幅の許容差		0/-0.10	0/-0.18	0/-0.18	0/-0.20	0/-0.22	0/-0.26	0/-0.30
ドロ一品	厚さ・幅	8~9	10~18	19~30	31~50	51~80	81~120	121~124
	許容差	0/-0.22	0/-0.27	0/-0.33	0/-0.39	0/-0.46	0/-0.54	0/-0.63
ドロ一品	厚さ・幅	125~180	181~250	251~300				
	許容差	0/-1.00	0/-1.15	0/-1.30				

※例：サイズ9×125の場合は厚み+0/-0.22 幅+0/-1.00となります。

■ 圧延ホットフラットバー寸法許容差 単位：mm

			幅 W					
			≤50	50<W≤75	75<W≤100	100<W≤125	125<W≤150	150<W≤350
厚さ t	~ 20	幅	±0.8	±1.0	±1.2	±2.0	±2.5	±2.5
		厚さ	±0.4	±0.5	±0.5	±0.5	±0.5	±0.6
	21 ~ 36	幅	±0.8	±1.0	±1.2	±2.0	±2.5	±2.5
		厚さ	±0.5	±0.5	±0.5	±0.6	±0.6	±0.6
	37 ~ 40	幅	—	±1.0	±1.2	±2.0	±2.5	±2.5
		厚さ	—	±0.5	±0.7	±0.7	±0.7	±0.7
	41 ~ 50	幅	—	±1.2	±1.2	±2.0	±2.5	±2.5
		厚さ	—	±0.8	±1.0	±1.0	±1.0	±1.0
	51 ~ 150	幅	—	±1.2	±1.2	±2.0	±2.5	±2.5
		厚さ	—	±0.8	±1.0	±1.0	±1.0	±1.0

※上記より厳しい寸法許容差についてもご相談に応じます。

■ 弊社の特色

※接断品の取扱もしております。

※常時在庫以外のサイズもお問合せ下さい。